

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.29
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	146.21	1.1115	162.57	1.3096	0.6707
SYD-NY High	146.48	1.1201	162.68	1.3229	0.6798
SYD-NY Low	144.05	1.1106	161.23	1.3087	0.6702
NY 5:00 PM	144.41	1.1193	161.57	1.3216	0.6797
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,175.08	462.30	日本2年債	0.3700%	0.0200%
NASDAQ	17,877.79	258.44	日本10年債	0.8900%	0.0200%
S&P	5,634.61	63.97	米国2年債	3.9068%	▲0.1062%
日経平均	38,364.27	153.26	米国5年債	3.6399%	▲0.0845%
TOPIX	2,684.72	13.32	米国10年債	3.7943%	▲0.0626%
シカゴ日経先物	38,365.00	260.00	独10年債	2.2235%	▲0.0200%
ロンドンFT	8,327.78	39.78	英10年債	3.9115%	▲0.0480%
DAX	18,633.10	139.71	豪10年債	3.9290%	0.0440%
ハンセン指数	17,612.10	▲ 28.90	USDJPY 1M Vol	12.44%	0.09%
上海総合	2,854.37	5.60	USDJPY 3M Vol	11.63%	0.15%
NY金	2,546.30	29.60	USDJPY 6M Vol	10.60%	0.21%
WTI	74.83	1.82	USDJPY 1M 25RR	▲2.49%	Yen Call Over
CRB指数	278.72	4.05	EURJPY 3M Vol	10.20%	0.16%
ドルインデックス	100.72	▲ 0.79	EURJPY 6M Vol	9.63%	0.10%

東京	東京時間のドル円は146.21レベルでオープン。オープン後には146.33をつけるも、その後は植田日銀総裁が国会閉会中審査の答弁にて経済・物価見通しが実現する場合には金融政策正常化を進めるとの姿勢を示すと円買いが強まり一時145.31をつける。一巡後は145円台半ばでもみ合い推移が続き145.59レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.59レベルでオープン。FRB議長の講演を待つ中、全般に為替は小動きだったが、米株先物が堅調に推移するのを横目にドル円は円安推移。146.04レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は146円台前半でスタート。東京時間では、植田日銀総裁が今後の政策金利を巡り、「見通しの確度が高まっていくことが確認できたら、金融緩和の度合いを調整していくという基本的な姿勢に変わりはない」との見方を示すと、円買いが優勢となり、145.31まで下落。その後は円買い一巡となり、徐々に値を戻し、146.04レベルでNYオープン。午前中はパウエル議長がジャクソンホールで開催されている年次シンポジウムにて、「利下げの 때가来た」、「インフラ率が当局の目標である2%への軌道にあるとの確信を強めた」等の発言が伝わると、9月会合での利下げがほぼ確実との見方が強まり、米金利の大幅低下に伴い、144.90付近まで大幅下落。午後はハーカー・フィラデルフィア連銀総裁の「金利を引き下げ始める必要がある」や、ゲールズビー・シカゴ連銀総裁の「現行の金融政策は極めて制約的で、現在の経済情勢にもはや合致していない」等との発言を受け、米金利が一段と低下する動きにドル円も144.05まで続落し、その後144.41レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.11台前半でスタート。1.1120付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.1119レベルでNYオープン。午前中は先述のハト派色の強パウエル議長の発言を受け、ドル売りが優勢の中、1.12台手前まで上伸。午後米金利が低水準で推移する展開を横目に、1.1201まで上値を伸ばし、その後1.1193レベルでクロス。

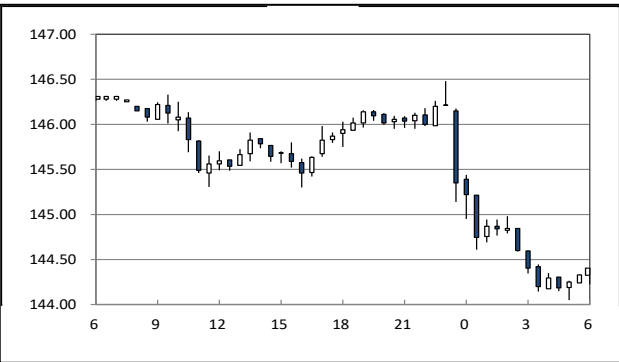
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月23日	08:01	英 GfK消費者信頼感	8月 -13	-12
	08:30	日 全国/コア/コアコアCPI	7月 2.8%/2.7%/1.9%	2.7%/2.7%/1.9%
	21:30	加 小売売上高(前月比)	6月 -0.3%	-0.3%
	22:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	「年末までに一回より多い利下げを指示する可能性がある」	
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	「主要政策金利を引き下げる時が来た」	
	23:00	米 新築住宅販売件数	7月 739k	623k
8月24日	00:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	「利下げの道筋は『整然とした』ものになるべきだ」	
	23:25	欧 レーン・ECB理事 講演	「インフレ目標2%への回帰まだ確実ではない」	

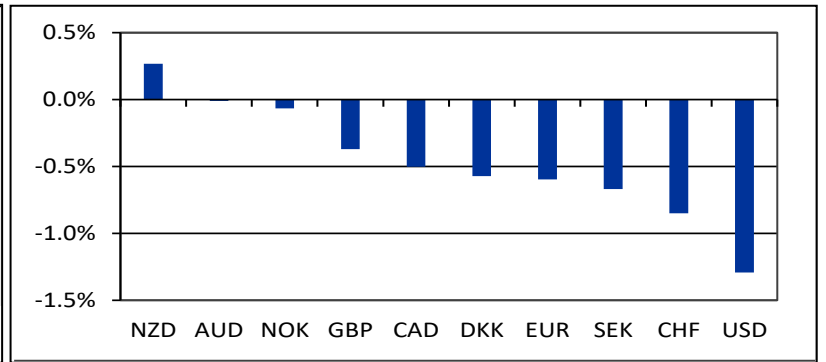
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月26日	14:00	日 景気一致指数・確報	6月 -	113.7
	17:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	8月 86.0/86.5/85.8	87.0/87.1/86.9
	21:30	米 耐久財受注(前月比/除輸送用機器)・速報	7月 4.9%/0.0%	-6.7%/0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-145.00	1.110-1.125	160.00-162.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間146円前半でスタートしたドル円は、植田総裁の発言により145円前半まで下落となるもその後は値を戻し、ジャクソンホールでのパウエル議長の発言を受けて一時144.05まで下落となりボラティリティの高い値動きとなった。

ジャクソンホール会議においては、パウエル議長より9月FOMCにおいてほぼ利下げを確実視する発言を受けて、相場はドル売の展開となったが、9月の利下げ幅やその後の金融政策運営に関する発言はなく、今週30日に発表される米個人消費支出に注目が集まる。また、9月FOMC前には雇用統計・CPIといった指標も控えていることから、経済指標の結果を踏まえつつ利下げ幅を見極める展開となるだろう。ただし、ジャクソンホール前に9月利下げは市場でほぼ織り込まれていたことから先週末のドル売りは過熱感もあり、短期的にはドル買いを予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。